

三井住友海上火災保険株式会社

広報部 〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9
 TEL: 03-3259-3111(代表)
 www.ms-ins.com

2017年4月27日

～企業の安全品質向上を支援するサービス～

「SAS予兆チェックサービス」の導入企業が500社を突破

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：原典之）は、2016年5月に提供を開始した、「SAS予兆チェックサービス」の導入企業が500社、登録者数2.4万人を突破しましたので、お知らせします。

本サービスは、睡眠時無呼吸症候群^(※1)（以下、SAS）の症状の一つである「いびき」の状態を専用スマートフォンアプリで録音・分析するもので、企業の管理者等に従業員ごとの結果をレポートにて提供します。無料で簡単にご利用いただけるSAS対策の支援ツールとして幅広い業種のお客さまからご好評をいただいています。

SASは、集中力低下に伴う業務効率の悪化や居眠り運転等の交通労働災害を誘発する恐れがあるほか、ひとたび重大な交通労働災害が発生すると、高額な賠償金を負担するだけでなく、社会的信用を毀損することにもなり、その対策は企業にとって重要な経営課題となっています。

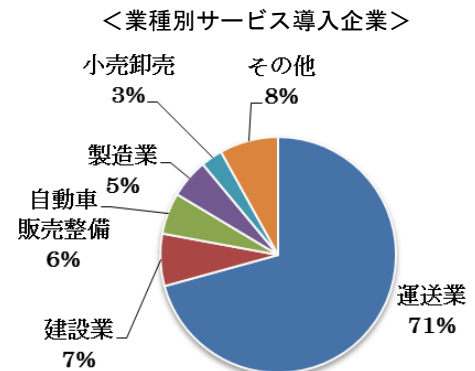
当社では、今後も安全運転や事故防止に繋がるサービスの提供に努めていきます。

(※1) 睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が止まったり止まりかけたりする病気です。供給される酸素が少なくなるため、眠りが浅くなり、日中でも突然意識を失うような眠気に陥ることがあります。

(注) 本アプリは、SASの症状の一つである「いびき」の状態を録音・分析するものであり、SASの診断を行うものではありません。

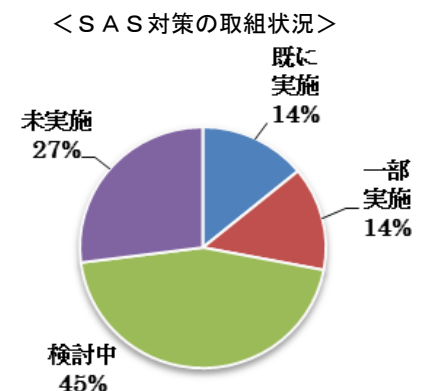
1. 業種別サービス導入企業の概況

国土交通省の運送事業者向け「SAS対策マニュアル」では、定期的なスクリーニング検査の重要性が示されており、導入企業の約7割を運送業が占めています。その他にも、危険な作業を伴う建設業や製造業等で導入が進んでいます。



2. SAS対策の取組状況

当社主催のSAS対策セミナー参加企業を対象としたアンケートでは、何らかのSAS対策を実施（一部実施を含む）している企業は3割弱に留まる一方、対策を検討している企業は約5割にもものぼります。



3. 今後の展開

当社は4月から、SASのリスクやサービス概要を分かりやすく解説した動画を提供しています。本ツールを通じて、今後もSASの理解促進やサービスのさらなる普及につなげ、重大な交通労働災害の防止に向けて取り組んでいきます。

以上

添付別紙：「SAS予兆チェックサービス」

「SAS予兆チェックサービス」

1. サービスの概要

- (1) 対象者：当社のご契約者に限らず、企業のお客さまは無料で利用可能です。
- (2) 利用方法：所定の利用申込書をご提出いただくと、当社から専用ページのURLとID・パスワードをご案内します。専用ページでは、従業員ごとの「SAS予兆チェック」の実施状況等を確認することができます。

2. サービスの特長

(1) いびきの状態をチェック

就寝時に専用アプリを起動させ、スマートフォンを枕元に置いておくだけで、「いびき」の状態を録音・分析します。最新の音声分析技術^(※2)によりSASの症状の一つである「いびき」の音を分離抽出し、いびきといびきの間の無音部分を高精度で記録・判定します。データは専用のクラウドサーバーへ送信された後、クラウド上で集計・分析し、レポートを作成のうえ、企業の管理者へ提供します。

(※2) 高度な音声分析技術を有する株式会社アニモと協業し、当社オリジナルアプリとして開発しました。

サービス画面と利用イメージ

疲労度、運動量、お酒の量などを入力し、「録音開始」をタップして就寝します。

いびきをかいている区間を可視化でき、「！」をタップすると、実際にいびきの音声を聞くことができます。

録音した日にはマークがつき、タップすると記録を確認できます。

(2) アプリご利用後のサポート

「SAS予兆チェック」を実施した後、ご希望の場合には提携機関であるNPO法人ヘルスケアネットワークを通じて、自宅で検査可能な医療機器によるSASスクリーニング検査を紹介しています。

なお、検査にかかる費用は有料で、法人価格1名5,000円(税込)となります。

(ご参考)

スマートフォンから「SAS予兆チェックサービス」を分かりやすく解説した動画を視聴することができます。

こちら⇒

